| 学校番号 | 307 |
|---|---|

# 令和２年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 世界史Ａ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 『高等学校　世界史Ａ　改訂版』　第一学習者 | | | | | | |
| 副教材等 | ワークシート等 | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ

世界史の授業では、単に歴史的用語を知識として暗記するのではなく、個々の歴史的事象を結びつけて、因果関係を考察しながら、表現することを目標としている。
知識とそれを利用して、考察を行うために、図版、諸資料等を適宜利用する。
授業内では、板書を行い、それをまとめたワークシートを利用する。また、ICT 機器も用い、教科書には掲載されていない写真や動画等の史料を提示する。
休暇中を含め定期的に課題を課すので、家庭でしっかりと取り組むこと。

## ２　学習の到達目標

近現代史を中心とする世界の歴史を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、現代の諸課題を歴史的観点から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に生きる者としての自覚と素質を養う。

## ３　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:資料活用の技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する者としての責任を果たそうとする。 | 歴史的・地理的事象から課題を見いだし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 | 歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 | 我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 |
| 評価方法 | ・ワークシート<br>・レポート<br>・授業態度 | ・ワークシート<br>・レポート<br>・定期テスト<br>・授業態度 | ・ワークシート<br>・レポート<br>・定期テスト<br>・授業態度 | ・小テスト<br>・定期テスト<br>・ワークシート<br>・授業態度 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="9">1学期</td><td rowspan="3">古代アジア</td><td>東アジア</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td rowspan="3">a:古代アジア史に関して、現代の生活と結びつけながら意欲的に学習しようとしている。<br>b:古代アジアの歴史と現代の生活を比較・考察しまとめる。<br>c:アジア地域の地図や、図・資料などを活用して学習に生かしている。<br>d:アジア地域の地理的知識と、古代の生活・文化・政治について基本的知識を身につけている。</td><td rowspan="3">a:授業態度・ワークシート<br>b:ワークシート<br>c:ワークシート・定期考査<br>d:定期考査・課題提出</td></tr>
<tr><td>南アジア・東南アジア</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>西アジア</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">古代ヨーロッパ</td><td>ギリシアとローマ</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td rowspan="3">a: 古代ヨーロッパ史に関して、現代の生活と結びつけながら意欲的に学習しようとしている。<br>b: 古代ヨーロッパの歴史と現代の生活を比較・考察しまとめる。<br>c: 古代ヨーロッパ地域の地図や、図・資料などを活用して学習に生かしている。<br>d: ヨーロッパ地域の地理的知識と、古代の生活・文化・政治について基本的知識を身につけている。</td><td rowspan="3">a:授業態度・ワークシート<br>b:ワークシート<br>c:ワークシート・定期考査<br>d:定期考査・課題提出</td></tr>
<tr><td>東西ヨーロッパ</td><td></td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>西ヨーロッパ</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">古代アフリカ・アメリカ</td><td>アフリカ</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td rowspan="3">a: 古代アフリカ・アメリカの歴史に関して、現代の生活と結びつけながら意欲的に学習しようとしている。<br>b: 古代アフリカ・アメリカの歴史と現代の生活を比較・考察しまとめる。<br>c: アフリカ・アメリカの地図や、図・資料などを活用して学習に生かしている。<br>d: アフリカ・アメリカの地理的知識と、古代の生活・文化・政治について基本的知識を身につけている</td><td rowspan="3">a:授業態度・ワークシート<br>b:ワークシート<br>c:ワークシート・定期考査<br>d:定期考査・課題提出</td></tr>
<tr><td>アメリカ</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>ユーラシア大陸の交流</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
</table>

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 中世アジア史 | 明・清期の東アジア | ○ | ○ | | ○ | a:14～18 世紀にかけて東アジアで発生した明・清の二大王朝と、内陸アジアに一大帝国を築いたオスマン帝国、さらにそれらと関係をもったティムール朝・サファヴィー朝などについて関心をもって学習しようとしている。<br>b:明・清の成立、オスマン帝国の成立原因について、当時の社会情勢を含めて考察し、まとめる。<br>c:教科書内の地図や、図表などを適切に利用し、考察に活用することができる。<br>d:１４世紀のアジア史に関して、基本的な知識を身につけている。 | a:授業態度・ワークシート<br>b:ワークシート<br>c:ワークシート・定期考査<br>d:定期考査・課題提出 |
| | | 内陸アジアと南アジア | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | 中世ヨーロッパ史 | 大航海時代と新大陸 | ○ | | ○ | ○ | a:大航海時代とそれに伴う新大陸の植民地化、ヨーロッパでの文化の繁栄と宗教改革、国家としての確立などについて、関心をもって学習しようとしている。<br>b:封建的な制度の崩壊に対し、新たな枠組みの中でヨーロッパの国々がそれぞれ独自の変化を遂げていくことを特徴などにまとめ、考察する。<br>c:大航海時代の航海図や、ルネサンス期の美術品など、特徴を捉え、考察に活用することができる。<br>d:スペイン・イギリス・フランス・オーストリア・ロシアを中心に、絶対王政期の国家について基本的な知識を身に付けている。 | a:授業態度・ワークシート<br>b:ワークシート<br>c:ワークシート・定期考査<br>d:定期考査・課題提出 |
| | | ルネサンスと宗教改革 | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | 主権国家体制の成立 | | ○ | | ○ | | |
| | | 17 世紀のヨーロッパと啓蒙主義 | | ○ | | ○ | | |
| 2学期 | ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成 | 産業革命 | ○ | | ○ | ○ | a:産業革命の歴史的背景や、革命の連鎖反応について、関心をもって学習しようとしている。<br>b:ヨーロッパで発生した諸革命を考察し、発生原因や背景についてまとめることができる。<br>c:教科書に掲載されている産業革命期の地図や図版、蒸気機関の仕組みを ICT を用いて示し、また諸革命については年表等を適切に活用している。<br>d:産業革命の発生理由、欧米での革命の発生について基本的な知識を身につけている。 | a:授業態度・ワークシート<br>b:ワークシート<br>c:ワークシート・定期考査<br>d:定期考査・課題提出 |
| | | アメリカ独立革命 | ○ | | ○ | ○ | | |
| | | フランス革命 | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | ウィーン体制後の社会 | ○ | | | ○ | | |
| | | ヨーロッパの再編 | ○ | | | ○ | | |
| | | アメリカの伸張 | ○ | | ○ | ○ | | |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | アジア諸国の変貌と近代の日本 | 世界市場の形成と西アジア | ○ | | ○ | ○ | a:ヨーロッパ勢力の相次ぐ侵略に対してアジアの国々がとった対応について関心を持って学習している。<br>b:清の没落要因を列強との違いについて焦点をあて考察し、まとめる。<br>c:西アジア・東南アジアの地図や日本と朝鮮との年表などを適切に活用することができる。<br>d:アジアの激動の時代について西アジア・東南アジア・東アジアの 3 つの地域について基本的な知識を身につけている。 | a:授業態度・ワークシート<br>b:ワークシート<br>c:ワークシート・定期考査<br>d:定期考査・課題提出 |
| | | インドと東南アジアの植民地化 | ○ | | ○ | ○ | | |
| | | 清の動揺と明治維新 | | ○ | ○ | ○ | | |
| | | 東アジアの変革 | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | 帝国主義の時代 | 列強による帝国主義 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:帝国主義の発生と太平洋地域の再編について関心を持って学習している。<br>b:帝国主義の発生要因について、各国の情勢を踏まえながら国別に比較・考察を行いてまとめる。<br>c:帝国主義に関する風刺画や、分割後の地図などを利用し、ヨーロッパの勢力拡大の理解に活用している。<br>d:帝国主義の発生原因と進展過程をアフリカを中心として理解し、さらに、太平洋地域も列強の標的となったことを理解する。 | a:授業態度・ワークシート<br>b:ワークシート<br>c:ワークシート・定期考査<br>d:定期考査・課題提出 |
| | | アジア太平洋地域の分割とロシア | ○ | | | ○ | | |
| 3学期 | 世界戦争と平和 | 第一次世界大戦 | ○ | ○ | ○ | ○ | A 二つの大戦と世界恐慌について、関心を持って学習しようとしている。<br>b:二つの大戦について、発生原因と進展に着目しながら、内容の差異を比較して考察し、まとめる。<br>c:複雑な同盟網や戦争に使用された道具の写真等を知識理解の補助に適切に活用している。<br>d:世界大戦の発生原因と内容、また、ロシア革命についての基本的な知識を身につけている。 | a:授業態度・ワークシート<br>b:ワークシート<br>c:ワークシート・定期考査<br>d:定期考査・課題提出 |
| | | アジアの民族運動 | ○ | | | ○ | | |
| | | 第二次世界大戦 | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | 三つの世界と日本の動向 | 戦後のアジア | ○ | | ○ | ○ | a 戦後復興と独立、さらに冷戦への突入について関心を持って学習しようとしている。<br>b:冷戦の発生原因と、それに加担しなかった第三世界の国家に注目しながら、冷戦のもつ世界的影響力について考察する。<br>c:冷戦を象徴するような写真や図、地図などを学習の補助に適切に活用している。 | a:授業態度・ワークシート<br>b:ワークシート<br>c:ワークシート・定期考査<br>d:定期考査・ |
| | | 第三世界とラテンアメリカ | | ○ | ○ | ○ | | |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 冷戦の変化 | | ○ | ○ | ○ | d:冷戦が引き起こした対立とそれに加担しなかった第三勢力に注目しながら、戦後の世界情勢の概観を理解する。 | 課題提出 |
| | 地球社会への歩みと課題 | 世界の変容 | | | ○ | ○ | a:冷戦の終結と国際協調について、関心を持って学習しようとしている。<br>b:冷戦終了にいたる原因と、今日まで続く現代の課題について相互に関連づけながら考察し、まとめる。<br>c:教科書や資料集に掲載されている地図や年表、表等を適切に活用している。<br>d:冷戦の終結と現在に残されている世界的な課題に関して基本的な知識を身につけている。 | a:授業態度・ワークシート<br>b:ワークシート<br>c:ワークシート・定期考査<br>d:定期考査・課題提出 |
| | | 冷戦の終結 | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | | 冷戦後の世界 | | ○ | ○ | ○ | | |
| | | 21 世紀の世界と日本 | ○ | ○ | | ○ | | |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元で全ての観点について評価することとなるが、小単元の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。